



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター

電話：072-838-0400

URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

おもな Contents：

- ☐ 校区福祉委員会紹介
木屋校区ボランティア部会
- ☐ ボランティア活動調整報告
- ☐ 「屋上庭園」
- ☐ 公式 SNS はじめました！

備えと共助で防災対策 災害支援V大活躍

避けて通ることのできない災害。昨年6月の地震、9月の台風も記憶に新しいものですが、今年も梅雨に入り、大雨による災害などが心配されます。常に災害に備えておくことが何よりも被害を最小に抑えることができるということです。

昨年の台風被害時には、当センター登録の災害支援ボランティア「(株) 天水」「石脇建設(株)」と個人ボランティアが大活躍。ブルーシート張りなどの活動によって、たくさんの高齢者の皆さんが雨漏りなどから守られました。

「息子は遠いし、私とおとうさんだけで、どうしようもなかったんですが、ほんまに助かりました」「雨漏りの心配が続きましたが、ボランティアさんに来てもらって、ありがたかったです」。

また、校区の福祉委員、ボランティア部会員も安否確認などで訪問。地域中で高齢

今だ、ブルーシートの
見られる市内の住宅



者や身障者を見守りました。

「地震のとき、怖かったけど、直ぐに『大丈夫ですか？』と民生委員さんから、電話をもらいました」「近所のボランティアさんが、見に来てくれました。不安な気持ちが安心に変わりました」などの声も多く伝わってきました。

校区福祉委員は「今回は、共助の充実に感動を覚えました。また、いつ起こるかわからない災害に対して、さらなる物心ともに準備することの大切さを痛感しています」。

当ボランティアセンターでも「災害ボランティアセンタースタッフの養成講座」などを企画し、地域の皆さんに「防災意識のさらなる高まり」を願っています。

防災備蓄の心得

災害発生時、電気やガス、水道をはじめとしたライフラインが止まってしまった場合に備えて、日ごろから飲料水や非常食等を備蓄しておきましょう。また、自宅が被災した場合は、安全な場所に避難して生活を送る必要があります。避難所での生活に必要なものはいつでも素早く持ち出せるよう、事前に備えておくことが大切です。



福祉委員会紹介

ぜひ若い世代の参加を 木屋校区福祉委員会

現在 47 歳から 80 歳代の 29 人が在籍するボランティア部会には 20 年以上継続している活動があります。

まず、65 歳以上のひとり暮らし高齢者に、年 2 回配るマドレーヌづくり。朝から約 300 個焼き、飲み物とセットして各地区（7 自治会）へ。部会員を含む福祉委員や見守り協力員がその日のうちに配ります。

そして高齢者対象のハイキング。今年は総勢 44 人が京阪・地下鉄で天王寺動物園へ行きました。

木屋小学校での福祉体験学習のお手伝いは、部会でマニュアルを作り研修し

ながら進めています。今年はアイマスク体験（4 年生）と高齢者擬似体験（6 年生）に参加します。

高齢者のサロンは各地区で部会員を含む福祉委員で開いています。その他施設見学等年 1 回の研修も実施し「長年にわたり役割分担を明確にすることで各々が目的意識を持ち、お互いを認め合いながら活動できることは誇らしいこと。若い世代にもぜひ参加してほしい」と 7 代目の宮田部会長が話していました。（上田）



真心込めてマドレーヌづくり

元気いっぱいのボランティア



笑顔も元気いっぱいの
森田正信さん

すみれの会はカラオケ（主に 60～70 年代の曲を施設の皆さんと一緒に歌い歌唱指導もできるグループです。代表の森田さんは仕事を退職後、近所の方から寝屋川苑でのボランティア活動に誘われたことをきっかけにすみれの会を立ち上げました。

「大きな声を出して歌うことは健康

に良いことです。現在は 10 人の固定メンバーで活動していますが今後末永く活動を続けるため新規のメンバーも募集しています」すみれの会はカラオケの他、整容、傾聴も。

今年度の登録ボランティアグループ連絡会で会長に就任。抱負をお聞きすると「他のグループの活動内容がわからない」という声を聴きます。私自身もこれまでは他のグループの活動を知らず、今回の会長就任をきっかけに他のグループの活動の見学をしています」会員相互の連絡・交流を深めていきたいとのこと。

すみれの会の活動、活動の見学にも興味のある方はボランティアセンターまでご連絡ください。

登録Vグループ新会長

ご協力に感謝

新年度もたくさんのボランティアの活動がありました。

ボランティア活動調整報告 【当ボランティアセンター取り扱い調整分（施設・団体に限る）】

ようこそ 春のお花畑へ

4 月 8 日～19 日、保健福祉センターの屋上で、園芸福祉ボランティア「らぶ」の“春のお花畑”が開放されました。

青空の下たくさんの見事な花々、草木が太陽に向かって咲き誇っていました。来場者からは、「とってもきれいねえ」「本当にすばらしいわ！」という声が聞かれました。また珍しい原種チューリップには誰もが興味津々。ボランティアの説明を聞きながら、話題に花が咲いていました。1 階ロビーでは鉢植えや苗（野菜・草花）

の販売もあり、道行く人々が足をとめて購入している姿も多くありました。

「庭園」は年 2 回。秋にも予定しているので、訪れたことのある人もそうでない人も大歓迎です。お待ちしております。



ラベンダーを囲んで花
や野菜作りの話も弾み
ます

公式SNSはじめました！

現代では SNS は情報収集・共有や仲間作りなど、様々な場面で広く活用されています。

本会ではホームページに加え、新たに①フェイスブック、②ツイッター、③インスタグラムの3つの SNS ページを開設しました。

そこでは、本会の事業や寝屋川市内を中心とした地域福祉活動の取り組み、例えばひとり暮らし高齢者の見守り活動や子育てサロンなど、魅力のある取り組みと地域のみなさまの笑顔を積極的に発信していきます。

また、災害時には迅速な情報提供媒体として活用します。

～情報取得が便利に～

SNS (エス・エヌ・エス) ってなに？

インターネット上で、利用者が写真や文章などを利用して情報を発信したり、利用者が同士が情報を共有したりするサービスの総称です。

世界中で幅広い年代の方が利用しています。



ホームページ



ツイッター



インスタグラム



フェイスブック

上記の QR コードを携帯電話やスマホ等から読み取ると、本会の各 SNS ページにつながります。ぜひ一度、ご覧ください♪

ボランティア依頼時の強い味方 便利な冊子発行!!

ボランティアセンターでは「登録ボランティア団体紹介」冊子を制作しました。

市内で活動中のボランティアの様子が分野別、写真入りで紹介されています。ボランティア依頼時やご自身で活動先などをお探しの時にお役に立ちます。当冊子はボランティアセンターでお渡しします。ご希望の方はご遠慮なく、ご請求ください。

□■校区ボランティア部会の声

○ いきいきサロン開催時に演芸などのボランティアがわかって助かっています。

○ 本書を拝見して、さっそく問い合わせました。内容がよくわかりました。



お問い合わせ：当会ボランティアセンター

☎ 072-838-0400